

- 1 主 題 生き物を大切に <3-(2) 自然愛・動植物愛護>
2 資 料 名 「花だんとうばん」 出典：明るい心
3 本時の指導

(1) ねらい

- ・ とし子の気持ちをとらえ、励ます言葉を考えさせることを通して、動植物を大切にしようとする心情を育てる。
- ・ 相手の気持ちに寄り添い、よりよい人間関係を築く態度を育てる。

(2) 準 備

場面絵、センテンスカード

(3) 指導過程

区分	学 習 活 動	指導上の留意点・支援
方向 づ け る	3分 1 今まで育てたことがある動植物について、発表する。 ・ アサガオやミニトマトを大切に育てた。 ・ ホウセンカの水やりをしている。 ・ モンシロチョウの世話はたいへんだった。	・ 今まで育ててきた動植物について、それぞれの体験をふり返り、どのような思いで育ててきたのかを想起させる。
価値 の 追 究 把 握 ・ 自 己 の 生 き 方 の 実 感	38分 2 本資料を聞き、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">とし子さんは何に困っているのでしょうか。</div> ・ 苗に水をやることを忘れた。 ・ 苗が枯れるかもしれない。 ・ 動物園に行きたい。 3 自分の考えを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">あなたは、とし子さんにどんな言葉をかけてあげますか。</div> (1) ペアで役割演技をする。 (2) 教師がとも子役になり、代表児童から言葉がけさせる。 (3) 言葉をかけているときの気持ちを発表する。 ・ とし子さんが心配。 ・ とし子さんが元気になってほしい。 ・ 水やりができるように、励ましたい。 4 今日の学習を振り返り、自分の考えをまとめ発表する。	・ 主人公の様子が視覚的に分かるように、場面の絵やセンテンスカードを提示する。 ・ 資料に興味をもつことができるように教師が読み語りをする。 ・ 本時の発問につながる重要なできごととは強調して読む。 ・ 主人公が何に困っているのか、問題状況を的確に把握させる。 ・ 自分だったどのような言葉をかけ、行動するかを考えその理由について発表させる。 ・ 苗を大切に育てたいとし子の気持ちを受けとめ、とし子を励まし勇気づける言葉を考えさせる。 ・ とし子の気持ちに寄り添いにくい言葉の場合は切り返しの発問により、道徳的価値にせまるようにしていく。 【教師の切り返し】 ・ とし子さんは何に困っているのかな？ ・ なみだが出るほど苦しいと思うけど。 ・ 元気が出る言葉は何か？ ・ 話し合った内容や、級友の意見を思い出す中で、同じような場面にあった時、今後どうしていきたいか考えさせる。
ま と め	4分 5 教師の説話を聞く。	・ 資料の続きを読み、自分たちも花壇の水やりを続けていることを取り上げ、今後の飼育活動につなげる。

- 4 反 省
5 ご 高 評